

令和4年度 珠洲市立蛸島小学校 前期 学力向上プラン

プラン名 適切に表現する（書く・話す）ためのポイントを身につけよう（70%）

1 授業づくり

(1) 現状・課題 (R)

課題 自分の意見を適切に表現する力が弱い。	現状（科学的データ）					12か条+(プラス) 5条・4条
	・自校分析（令和3年12月実施）					
	2年ベネッセ	3年ベネッセ	4年ベネッセ	5年ベネッセ	6年県評価	
	100%	57.1%	66.7%	14.3%	2 二 14.3% 2 三 28.6% 3 二 14.3%	
	・R3後期プラン「課題に沿った、まとめや振り返りを書こう」（ノートチェック 70.5%） 授業検証シート 33.3%， 児童アンケート 92.1%， 検証テスト 70.5% [要因] ○課題を明確にすることで、まとめを適切に書ききる児童が増えてきた。 △主語・述語やキーワードを意識させているが、考えやまとめを適切に表現する力が弱い。 →教師：明瞭な課題作りができていない。 児童：課題や問いに対して、何をどのように表現すればよいかについての理解が不十分である。					

(2) 計画と実行 (P D)

前期目標	具体的取組		
問われていることに、適切に表現することができる。	・書かせたいまとめや振り返りから課題を作る。(教師) 振り返りになる課題：交流しよう，調べよう，見つけよう等 ×計算の仕方を考えよう →○どんな計算の仕方になりますか？ ×～はどんな気持ちか考えよう→○～はどんな気持ちだったでしょうか？ ×～の様子を読み取ろう →○～はどんな様子だったでしょうか？ ・課題や発問に沿った書き表し方の視点を，必要に応じておさえる。(教師) 1年：自分の考えを伝える 2～4年：主語・述語の確認、キーワードの確認 5・6年：課題や発問に応じた内容や文末の確認 ・課題とまとめの整合性を確かめる。(教師・児童) ・問いに対する考えやまとめ，振り返りを書き，見直しをする。(児童)		
	〈なぜ豆太は夜中に泣き泣き走ったのか？〉 豆太はもちもちの木が怖かったけれど，じさまを助けたいという思いの方が強かったから，医者様を呼ぶために走った。		
	検証項目	評価（結果）	目標の達成
	・授業参観シート「適切に表現できているか。」(70%・18/26人) ・ノートチェック「適切に表現できているか。」(70%・18/26人) ※1年生を除く ・児童アンケート「考えを最後まで書く（言う）ことができたか。」(70%・24/34人) ・検証テスト 文章問題で適切に表現できている児童の割合(60%・16/26人) ※		

(3) 検証と改善策 (C A)

月	評価項目（誰が，いつ）	結果	改善策
4	<input type="checkbox"/> ノートチェック（学担，4週） <input type="checkbox"/> 児童アンケート（学担，4週） <input type="checkbox"/> 検証テスト（学担，4週）	%	
5	<input type="checkbox"/> 授業参観シート（参観者，4週） <input type="checkbox"/> ノートチェック（学担，4週） <input type="checkbox"/> 児童アンケート（学担，4週） <input type="checkbox"/> 検証テスト（学担，4週）	%	
6	<input type="checkbox"/> 授業参観シート（参観者，4週） <input type="checkbox"/> ノートチェック（学担，4週） <input type="checkbox"/> 児童アンケート（学担，4週） <input type="checkbox"/> 検証テスト（学担，4週）	%	
7	<input type="checkbox"/> 授業参観シート（参観者，3週） <input type="checkbox"/> ノートチェック（学担，3週） <input type="checkbox"/> 児童アンケート（学担，3週） <input type="checkbox"/> 検証テスト（学担，3週）	%	

2 基盤づくり

前期目標	具体的取組	評価
・話し手の目を見て，相手の意見や考えを聴く。	・反応の言葉を掲示し，使えるように指導する。 ・定期的に自己評価をさせる。	